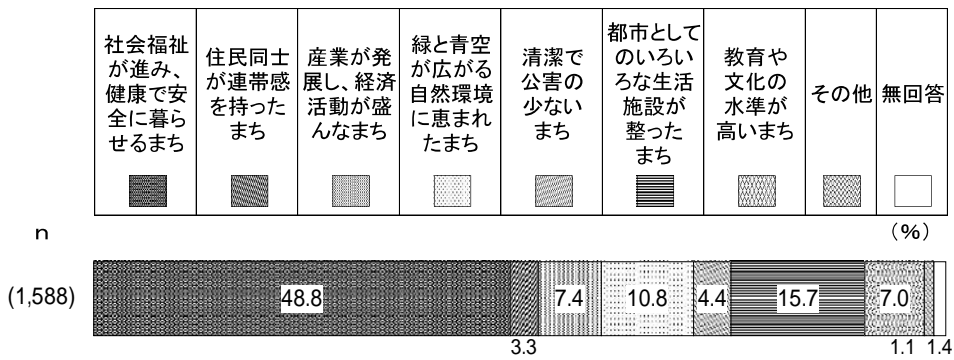


III 調査結果

1 まちづくりについて

(1) 市の将来像

問1 あなたにとって、将来の相模原市は、どのようなまちであってほしいですか。
次の中から最も近いものを選んでください。(○は1つ)



将来の相模原市はどのようなまちであってほしいかたずねたところ、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」(48.8%)が5割近くで最も高く、次いで、「都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち」(15.7%)、「緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち」(10.8%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」が継続して1位となっている。また、平成20年度以前の調査では「緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち」が2位であったが、平成23年度以降の調査からはそれまで3位だった「都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち」が2位に上がっている。平成23年度以降、1位～7位の全順位で変動がなかった。

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
令和2年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (48.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (15.7)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.4)	教育や文化の水準が高いまち (7.0)	清潔で公害の少ないまち (4.4)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.3)
平成29年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (51.7)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (13.4)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.1)	教育や文化の水準が高いまち (5.6)	清潔で公害の少ないまち (4.6)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.5)
平成26年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (53.4)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (11.6)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.5)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.0)	教育や文化の水準が高いまち (5.2)	清潔で公害の少ないまち (4.6)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.4)
平成23年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (49.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (12.1)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (11.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.7)	教育や文化の水準が高いまち (5.4)	清潔で公害の少ないまち (4.8)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.5)
平成20年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (59.1)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (14.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (7.3)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (4.3)	教育や文化の水準が高いまち (3.8)	清潔で公害の少ないまち (3.7)	住民同士が連帯感を持ったまち (2.9)
平成17年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (51.4)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (17.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (8.6)	清潔で公害の少ないまち (6.9)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (5.2)	教育や文化の水準が高いまち／住民同士が連帯感を持ったまち (3.9)	
平成14年度		社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (49.7)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (19.3)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (9.4)	清潔で公害の少ないまち (7.1)	教育や文化の水準が高いまち (4.7)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (4.2)	住民同士が連帯感を持ったまち (2.4)

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」は女性が男性より10.2ポイント高くなっている。一方、「緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち」は男性が女性より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」は男女ともに年齢が上がるにつれて高くなっている。「都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち」は男性30歳未満で3割を超えて高くなっている。

区別でみると、大きな違いはみられない。

